



2016年9月期
第4四半期(通期)決算説明会

2016年11月8日

株式会社セプテーニ・ホールディングス
www.septeni-holdings.co.jp
証券コード：4293

1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 2016年9月期 通期レビュー
5. 中期及び2017年9月期の方針と1Q業績予想
6. 補足資料

- 2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しており、2015年9月期の業績数値もIFRSベースに組み替えて表示しております。
- 従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。
- 事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、子会社取得時に認識した無形資産の償却費、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。
- 本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

1. 四半期連結決算概要

連結

収益 4,468百万円 (前年同期比13.9%増)

Non-GAAP営業利益 683百万円 (前年同期比32.8%減)

貸倒費用の計上とノンコア事業の大型プロモーションにより営業減益

ネット
マーケティング
事業

収益 3,385百万円 (前年同期比6.8%増)

Non-GAAP営業利益 1,335百万円 (前年同期比10.7%増)

回収懸念売掛金に対する貸倒費用96百万円を計上
貸倒費用を控除した営業利益は1,431百万円 (前年同期比18.6%増)

メディア
コンテンツ
事業

収益 196百万円 (前年同期比3.0倍)

Non-GAAP営業利益 -168百万円 (前年同期比18百万円減)

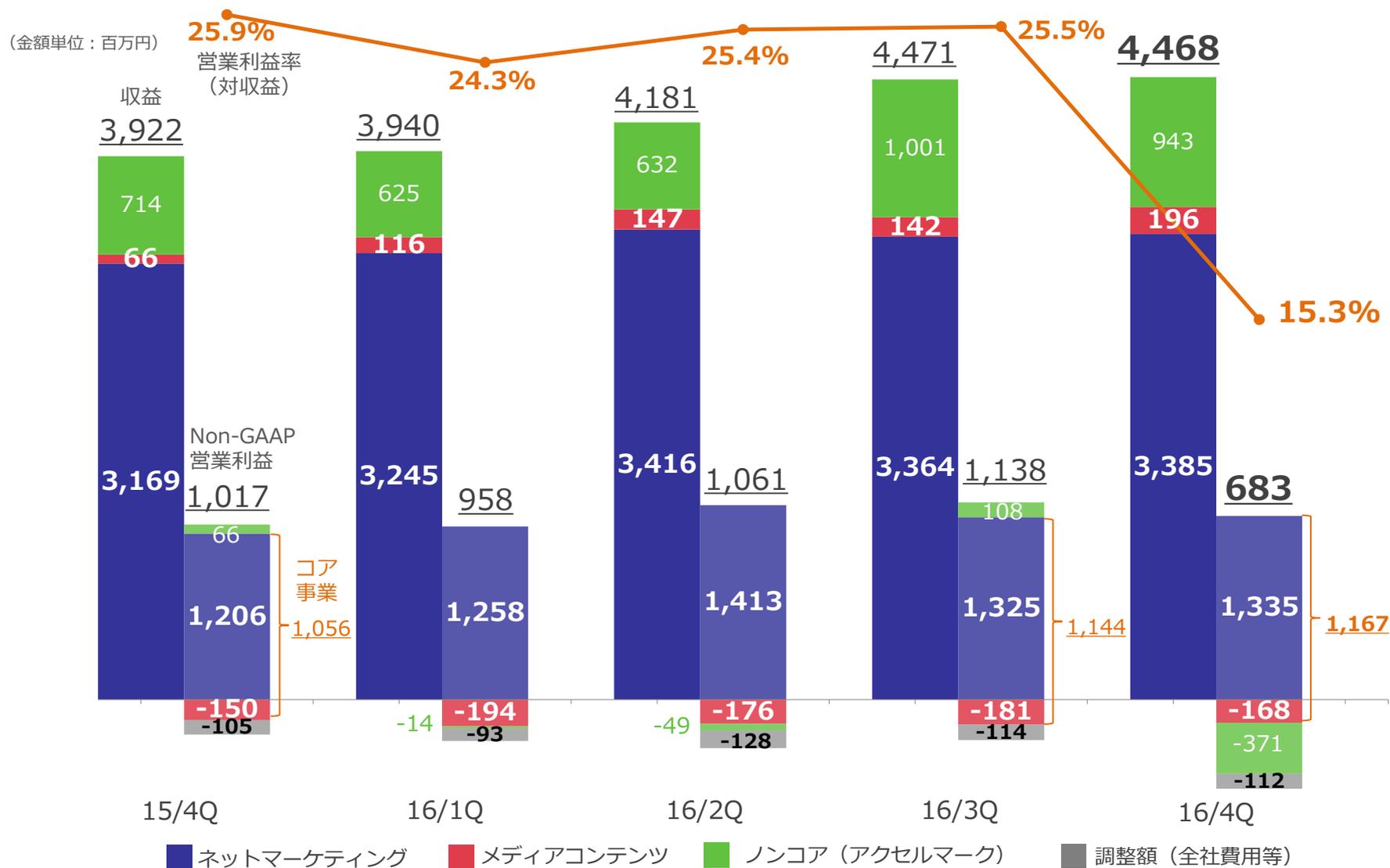
収益の拡大とともに前四半期比で営業損失が縮小

ネットマーケティング事業において収益が伸び悩むとともに、回収懸念売掛金に対する貸倒費用96百万円を計上

ノンコア事業では、ゲームの大型プロモーション実施によりNon-GAAP営業損失が371百万円となったほか、有限責任事業組合が保有する資産の減損損失177百万円を計上

(単位：百万円)	2016年9月期 4Q			2015/9期 4Q		2016/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	4,468	100.0%	+13.9%	3,922	100.0%	4,750
売上総利益	3,459	77.4%	+6.7%	3,243	82.7%	—
販売管理費	2,777	62.2%	+24.6%	2,229	56.8%	—
Non-GAAP 営業利益	683	15.3%	-32.8%	1,017	25.9%	850
営業利益	565	12.7%	-0.7%	569	14.5%	—
継続事業からの 当期利益	206	4.6%	-14.2%	240	6.1%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	477	10.7%	+54.1%	309	7.9%	654
【参考】売上高	19,127	—	+3.7%	18,437	—	20,400

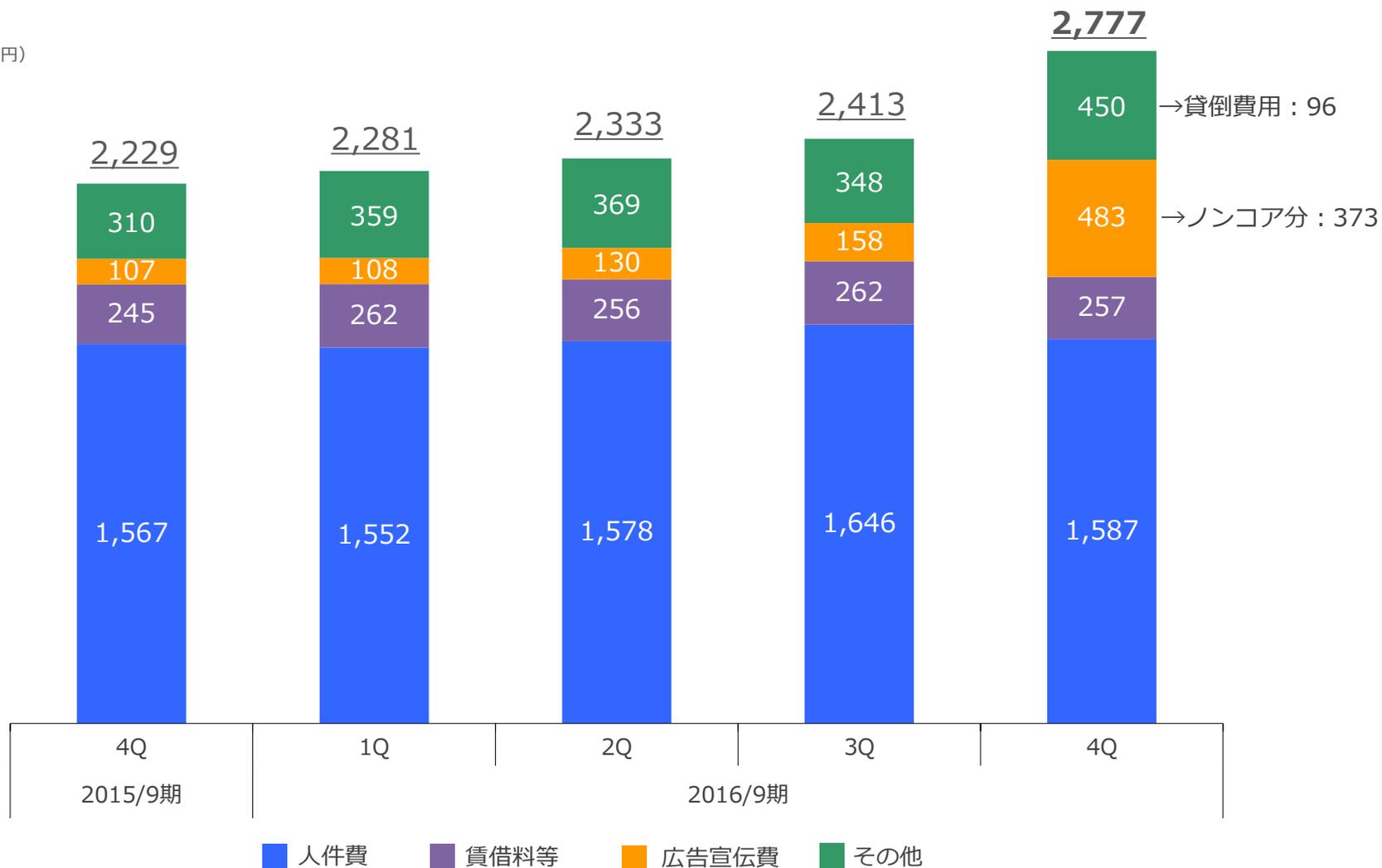
コア事業合計のNon-GAAP営業利益は前年同期比10.5%増



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

広告宣伝費とその他（貸倒費用）を中心に前年同期比で548百万円増加

(単位：百万円)



※IFRS適用に伴うのれんの償却停止の他、ネットマーケティング事業の人件費の一部を原価に振り替える等、計上ルールを変更（2015/4Qを組み替えて表示）

2. ネットマーケティング事業

国内は堅調に推移するも、大型案件の出稿減により海外が低調
全体の取扱高及び収益が伸び悩む

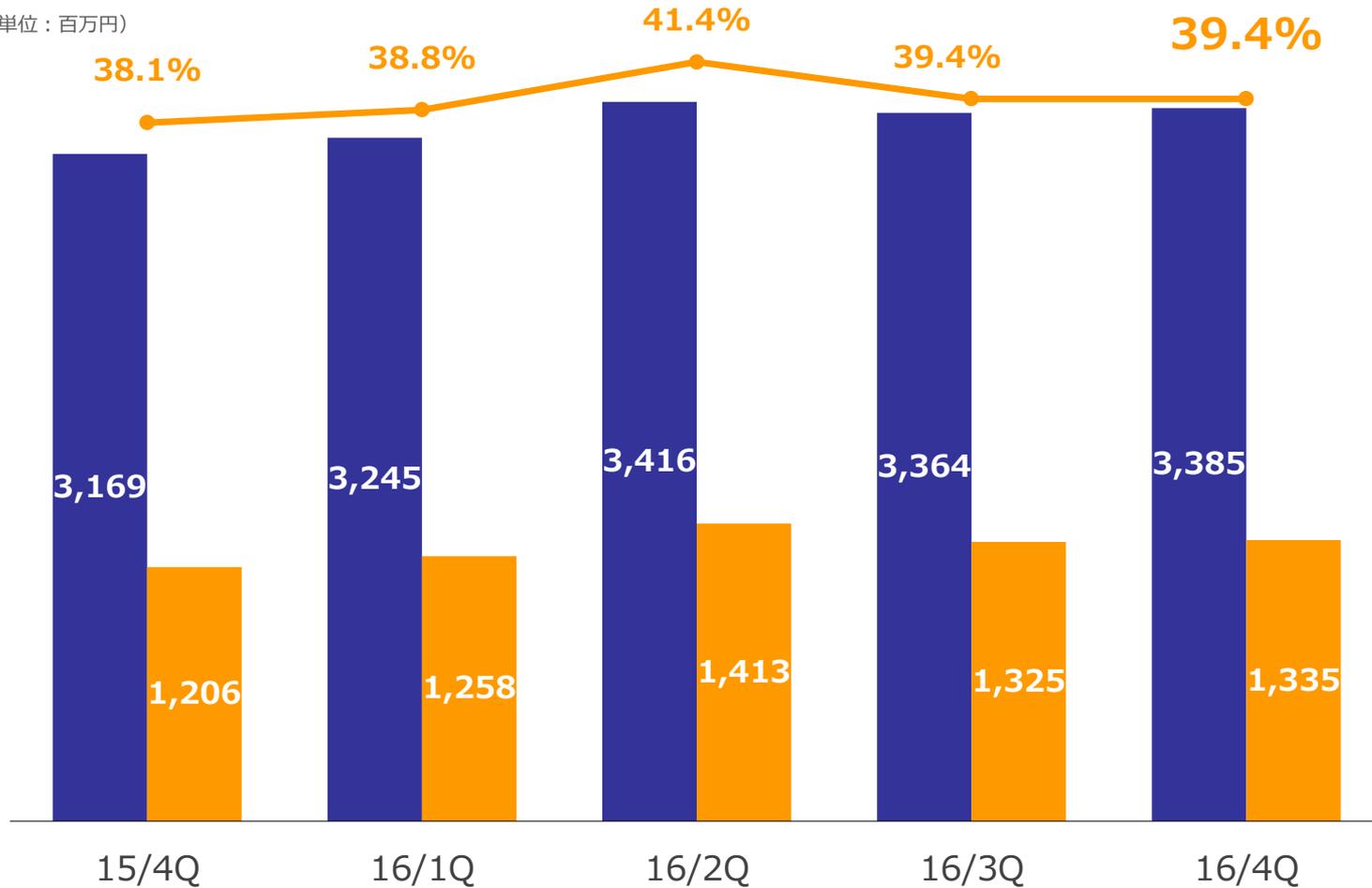
回収懸念売掛金に対して貸倒費用96百万円を計上するも営業利益率は向上
貸倒費用を控除した営業利益は1,431百万円（営業利益率42.3%、増益率+18.6%）

LINE関連広告の取扱が順調に拡大

(単位：百万円)	2016年9月期 4Q			2015/9期 4Q (前年同期)		2016/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	3,385	100.0%	+6.8%	3,169	100.0%	3,563
売上総利益	3,096	91.5%	+5.3%	2,940	92.8%	—
販売管理費	1,763	52.1%	+1.5%	1,738	54.8%	—
Non-GAAP 営業利益	1,335	39.4%	+10.7%	1,206	38.1%	1,456
【参考】売上高	18,211	—	+2.7%	17,738	—	

16/4Qは貸倒費用96百万円を計上するも営業利益率は高水準で推移

(金額単位：百万円)

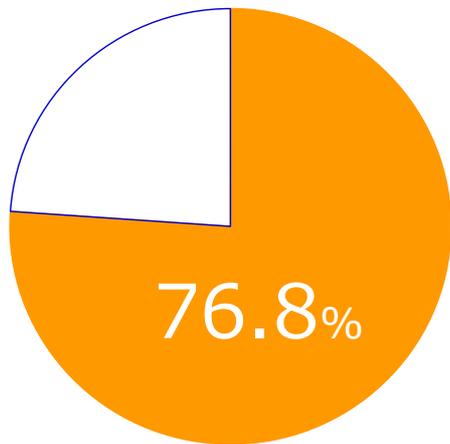


■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 ● 営業利益率 (対収益)

モバイル

(スマートフォン広告の取扱高)

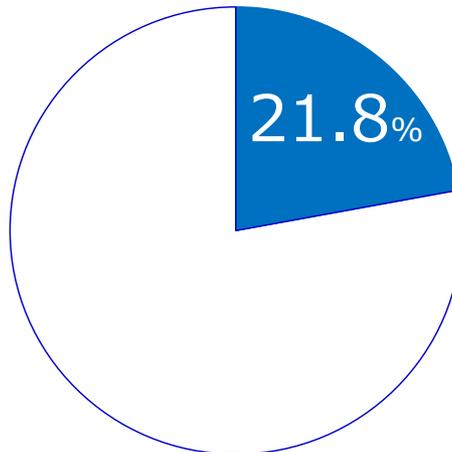
140億円
(YonY + **15%**)



ソーシャル

(Facebook、Twitter、LINE、Instagramの取扱高合計)

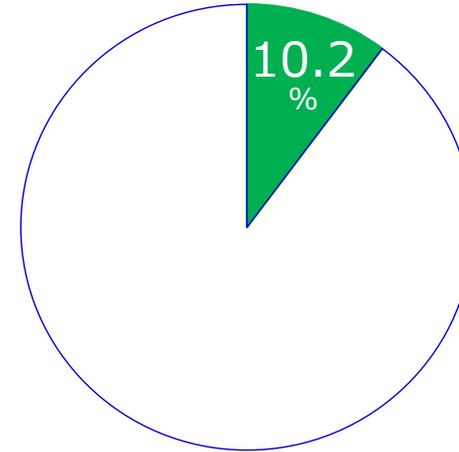
40億円
(YonY + **12%**)



グローバル

(海外顧客向け取扱高と国内顧客の海外向け配信取扱高の合計)

19億円
(YonY - **46%**)



(単位：億円)

15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q
121	122	136	142	140

15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q
35.5	34.0	39.3	41.2	39.6

15/4Q	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q
34.5	31.1	19.0	21.8	18.5

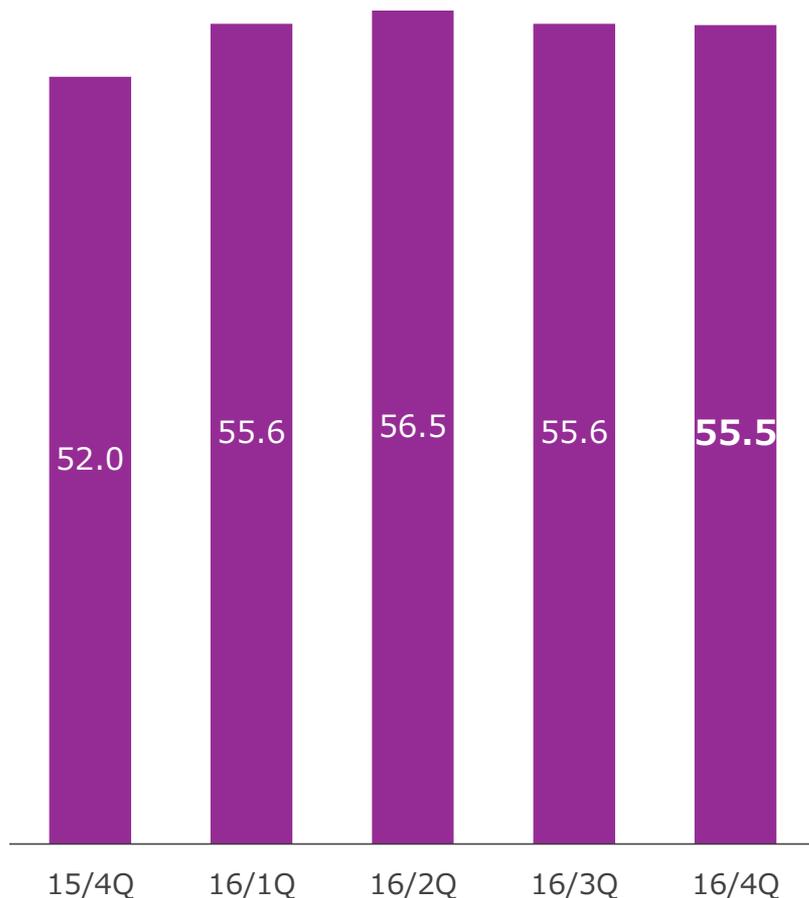
※1.円グラフの数値は、16/4Qの事業全体売上高（取扱高）182億円に占める割合

※2.各分野の取扱高には、それぞれ重複分が含まれる

アプリ領域

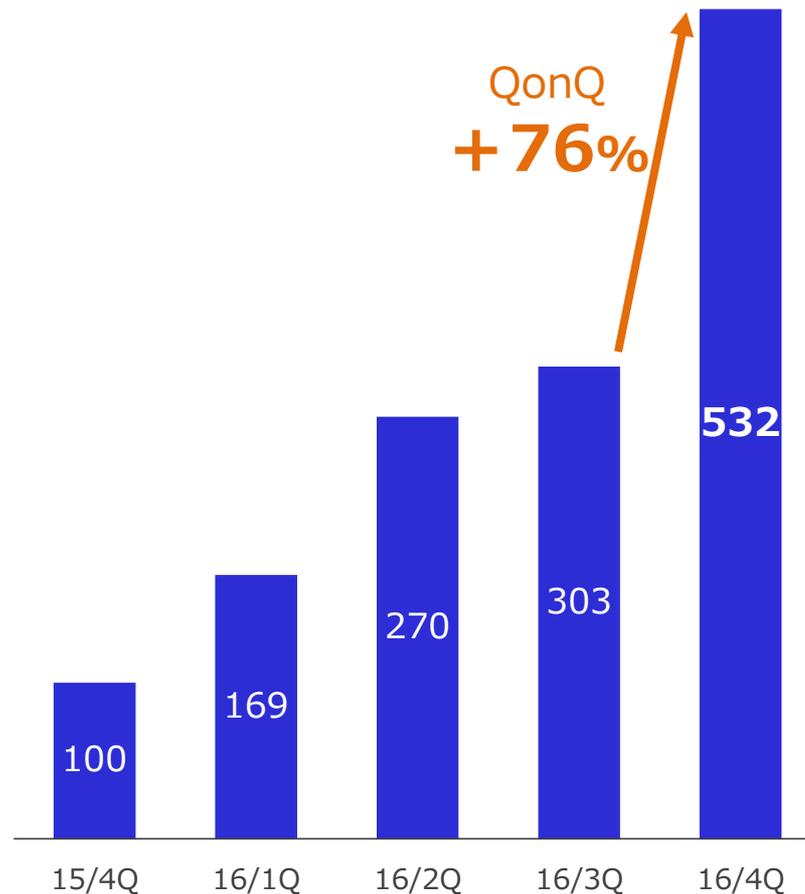
(アプリプロモーション広告の取扱高)

(単位：億円)



動画広告

※2015/4Qの取扱高を
100として指数化



グローバル

東南アジアトップクラスのデジタルエージェンシー
Lion Digital Global LTD (Lion & Lion)を子会社化
(2016年10月より)



グローバルネットワークが8か国・14拠点に拡大
2017年9月期以降の業容拡大を目指す



Lion & Lionの概要	
設立時期	2012年6月
事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア・クアラルンプール ・インドネシア・ジャカルタ ・香港 ・シンガポール
売上高	約23百万米ドル (2016年12月期予想)
従業員数	約170名
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・当社グループ：96.01% (約14億円で取得) ・経営陣：3.99%

3. メディアコンテンツ事業

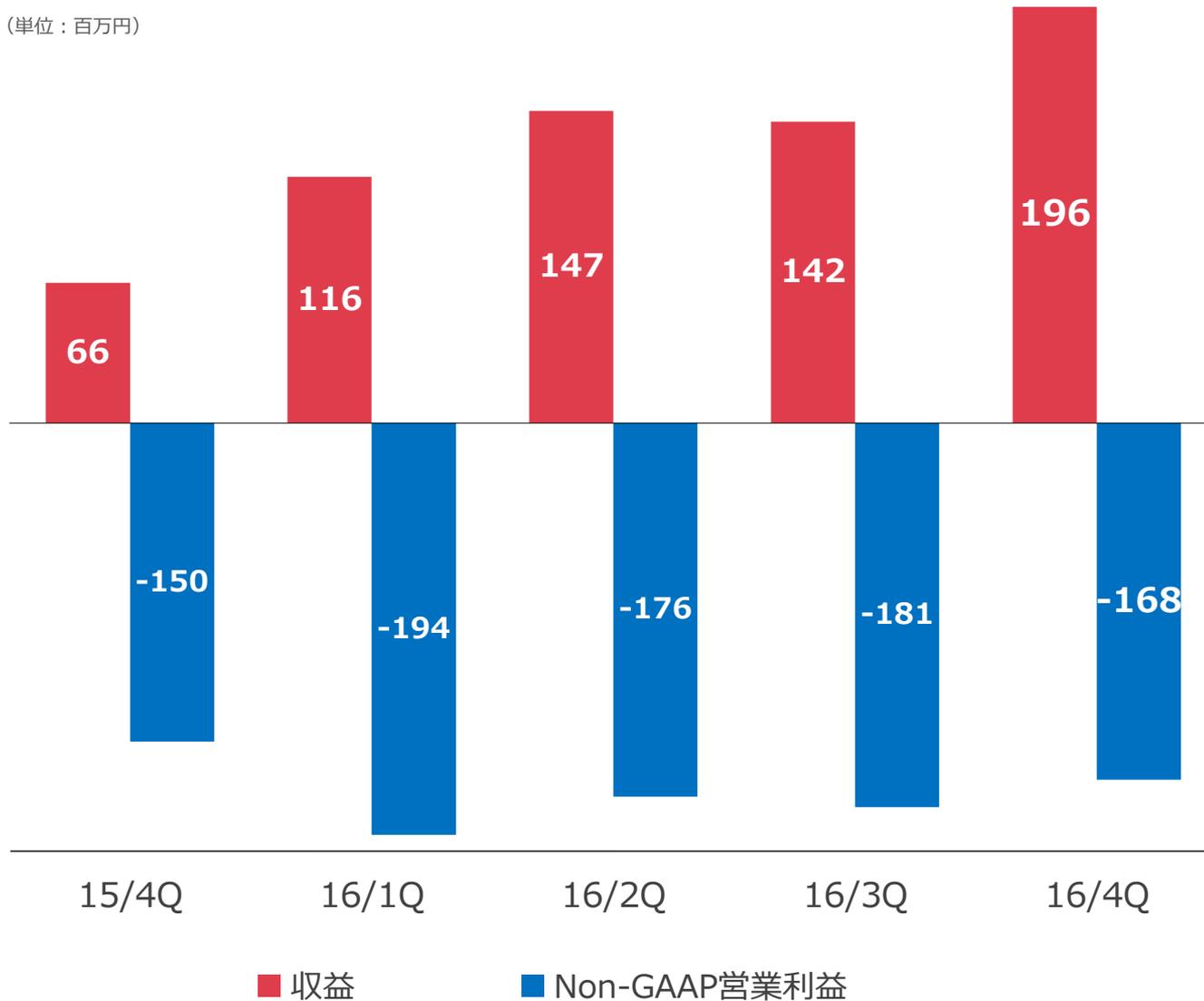
マンガコンテンツ事業は、プラットフォームの規模拡大が順調に進み、
 広告収益が増加

その他の各新規事業も堅調に推移
 メディアコンテンツ事業全体の営業損失が前四半期比で縮小

(単位：百万円)	2016年9月期 4Q			2015/9期 4Q (前年同期)		2016/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	196	100.0%	+196.5%	66	100.0%	185
売上総利益	114	58.4%	+495.8%	19	29.1%	—
販売管理費	282	144.1%	+66.2%	170	257.1%	—
Non-GAAP 営業利益	-168	-85.8%	(-18)	-150	-227.7%	-173

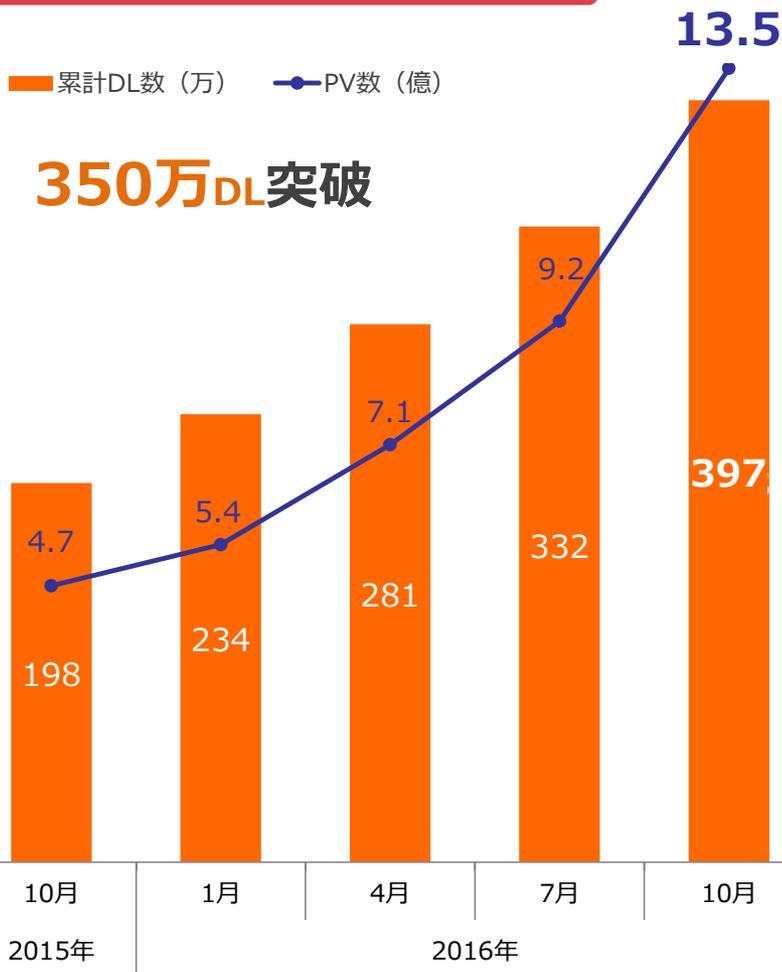
収益が拡大するとともに前四半期比で営業損失が縮小

(単位：百万円)



アプリ内ネイティブ広告「GANMA! AD」の売上高が順調に拡大

GANMA! の月間PVとアプリの累計DL数



当四半期に刊行された単行本



4. 2016年9月期 通期レビュー

連 結

収益 **17,060**百万円 (前期比**19.6%**増)

Non-GAAP営業利益 **3,841**百万円 (前期比**26.8%**増)

ともに5期連続で**過去最高**[※]を更新

**ネット
マーケティング
事業**

収益 **13,409**百万円 (前期比**20.8%**増)

Non-GAAP営業利益 **5,331**百万円 (前期比**39.7%**増)

業容拡大と収益性向上を両立

**メディア
コンテンツ
事業**

収益 **601**百万円 (前期比**2.9**倍)

Non-GAAP営業利益 **-718**百万円 (前期比**187**百万円減)

マンガコンテンツ事業を中心に収益が拡大

※2014年9月期以前は日本基準において相当する数値を算出して比較

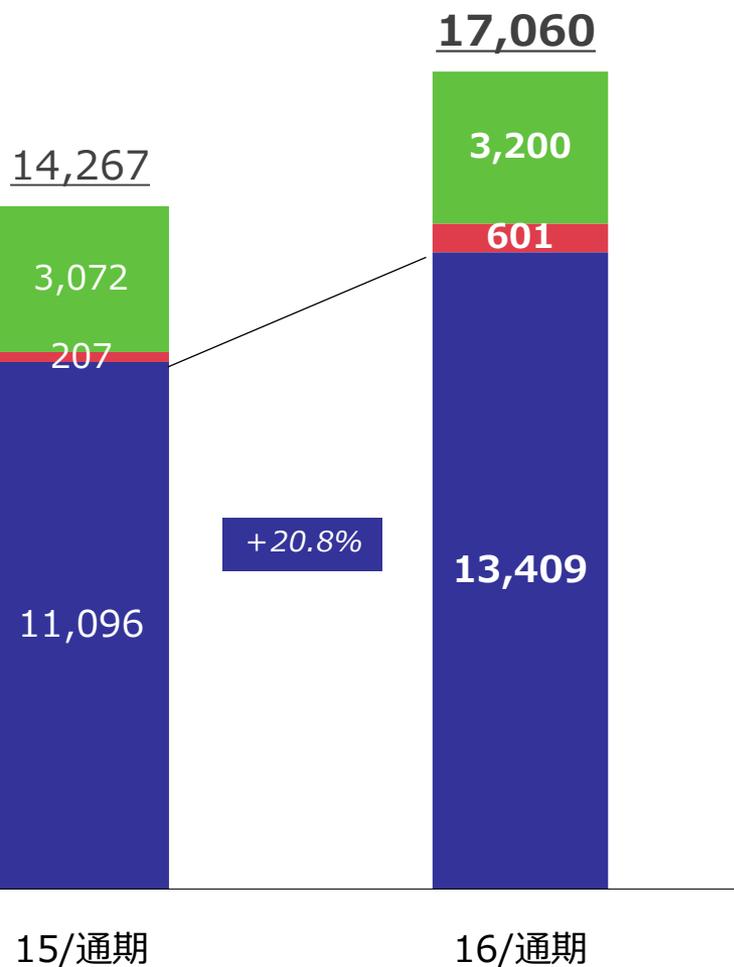
ネットマーケティング事業の利益成長がメディアコンテンツ事業とノンコア事業の先行投資による損失をカバーし大幅な営業増益を達成

前期に計上したDM事業売却に伴う利益（653百万円）の反動減をこなして親会社帰属当期利益も増益となり、4期連続となる増配を予定（1株あたり16円に）

(単位：百万円)	2016年9月期 通期			2015/9期 通期		2016/9期 通期 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	17,060	100.0%	+19.6%	14,267	100.0%	17,342
売上総利益	13,623	79.9%	+18.9%	11,461	80.3%	—
販売管理費	9,803	57.5%	+15.9%	8,457	59.3%	—
Non-GAAP 営業利益	3,841	22.5%	+26.8%	3,030	21.2%	4,007
営業利益	3,730	21.9%	+44.6%	2,579	18.1%	—
継続事業からの 当期利益	2,252	13.2%	+38.8%	1,622	11.4%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,519	14.8%	+7.1%	2,351	16.5%	2,696
【参考】売上高	76,401	—	+18.4%	64,548	—	77,675

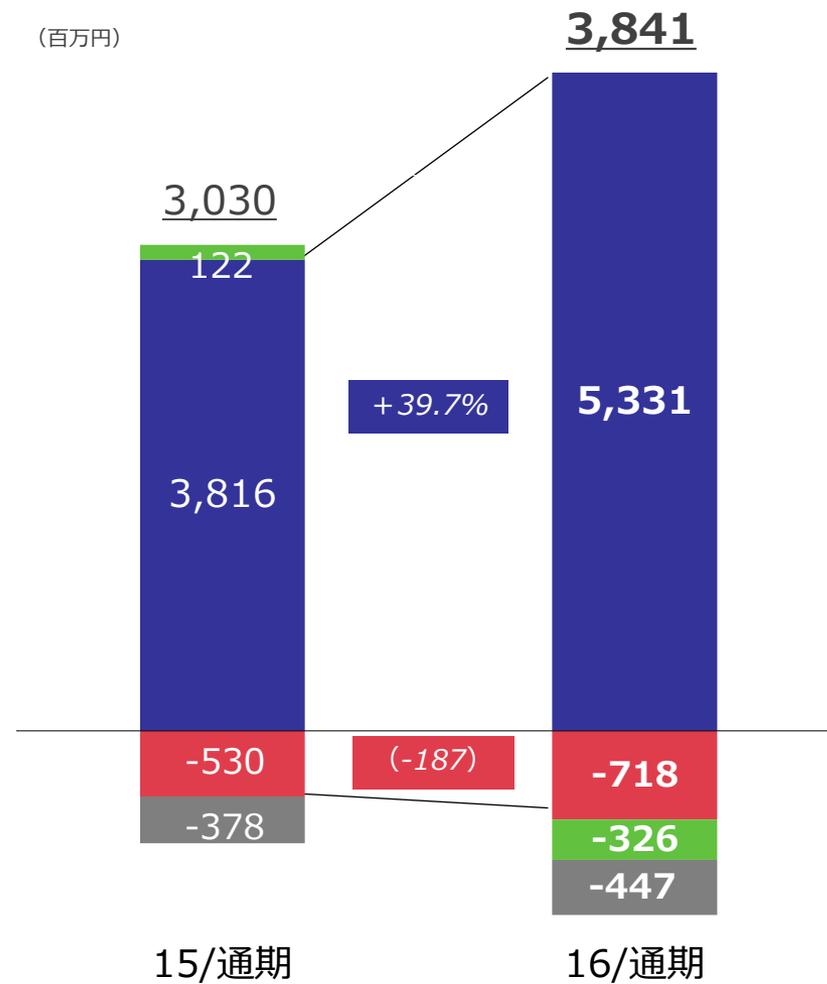
収 益

(百万円)



Non-GAAP営業利益

(百万円)



■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ ノンコア（アクセルマーク） ■ 調整額（全社費用等）

※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

収益		Non-GAAP営業利益			
金額 (百万円)	前期比	金額 (百万円)	前期比	利益率	前期比
13,409	+20.8%	5,331	+39.7%	39.8%	+5.4pt

業績

- モバイル・ソーシャルの各分野が高成長
- 売上高は18.8%増の732億円、売上高営業利益率は**7.3%**となり5期連続で改善

モバイル

- スマホ広告取扱高は前期比約**40%増**の540億円となり、構成比は約**74%**に
- インフィード広告領域が牽引し市場シェア向上

ソーシャル

- 取扱高は前期比約**37%増**の154億円に伸長
- LINE関連商品の取扱高が大幅に拡大

グローバル

- 大型案件の出稿減が影響し、取扱高は前期比約5%減の90億円にとどまる
- ニューヨークと北京に拠点を新設

収益		Non-GAAP営業利益			
金額 (百万円)	前期比	金額 (百万円)	前期比	利益率	前期比
601	+ 190.7%	- 718	(- 187)	- 119.4%	+ 137.1pt

マンガコンテンツ事業

- マンガアプリGANMA!の規模が大幅に拡大
直近の累計ダウンロード数は前年同期比約**2倍**となる**397万DL**、
月間ページビュー数は**13.5億PV**にまで成長
- アプリ内ネイティブ広告「GANMA! AD」の販売を開始
- 自社IPの商業化を推進
期中に新たに27作品を書籍化、続巻を含め合計43巻の単行本を刊行

その他の新規事業

- 採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業に加え、
当期より医療プラットフォーム事業を新規連結
各事業が着実に成長

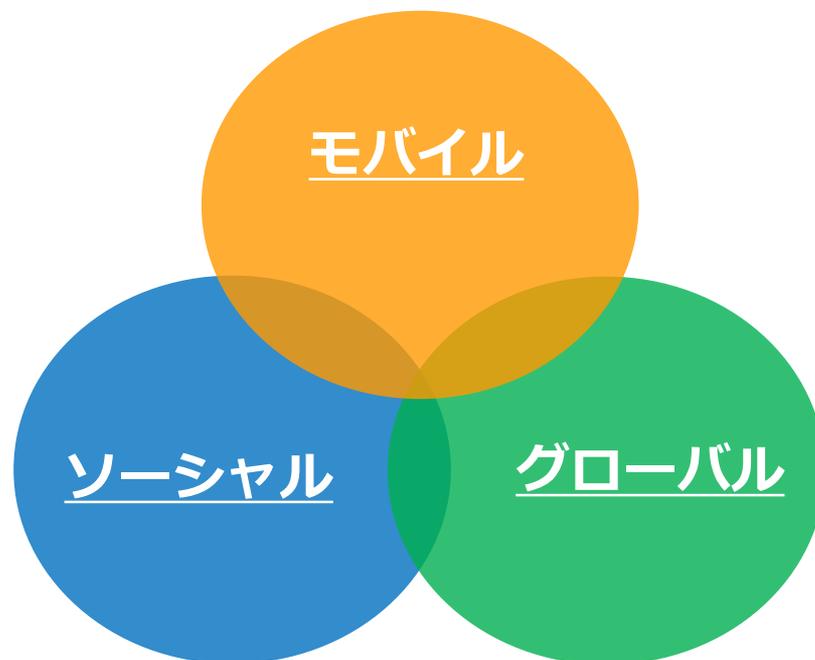
コンセプト

注力分野

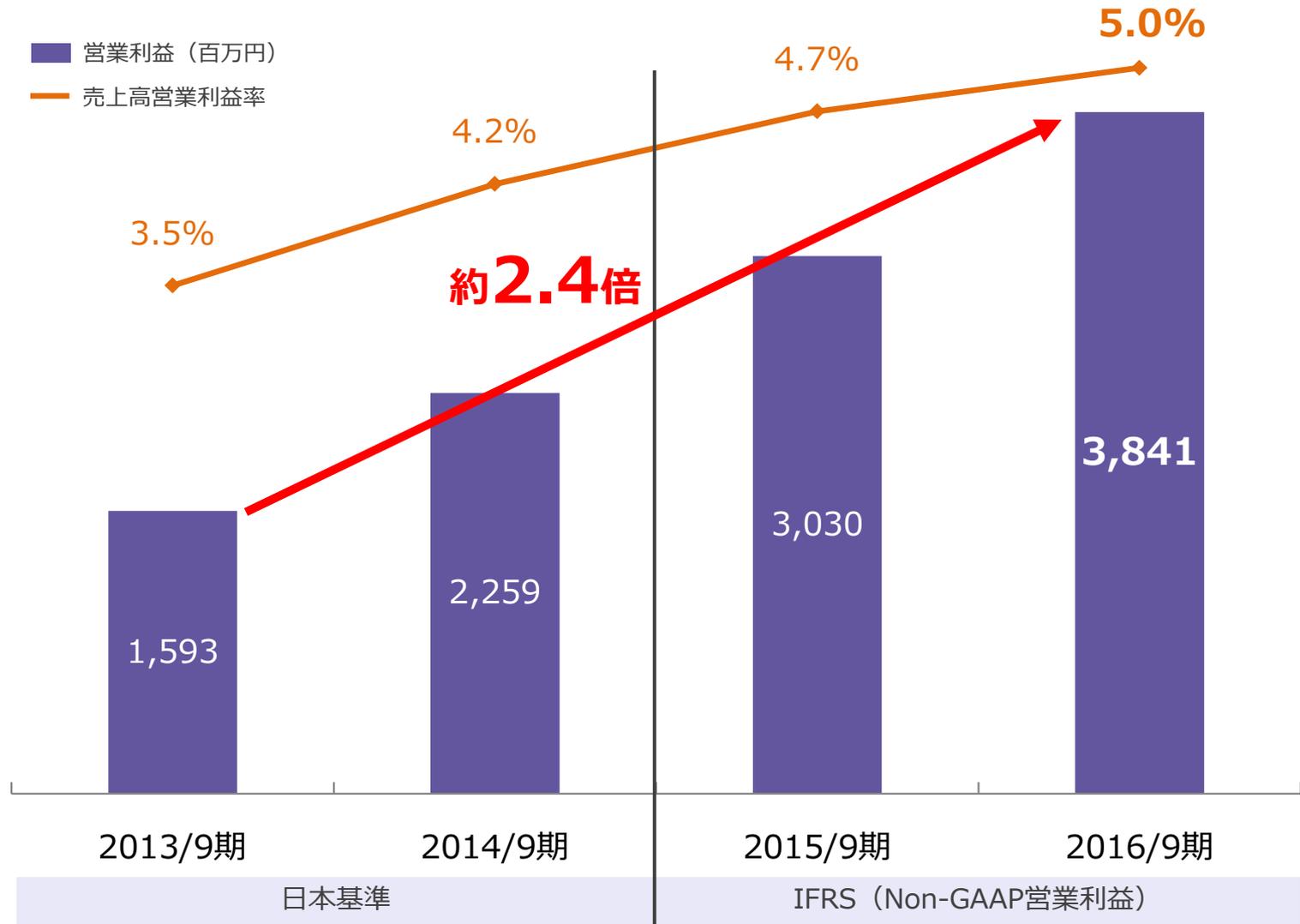
「利益倍増」

高収益事業の構成比アップ

広告に次ぐ事業の柱をつくる



「利益倍増」 3年間で営業利益は約**2.4倍**に拡大、利益率も向上



モバイル

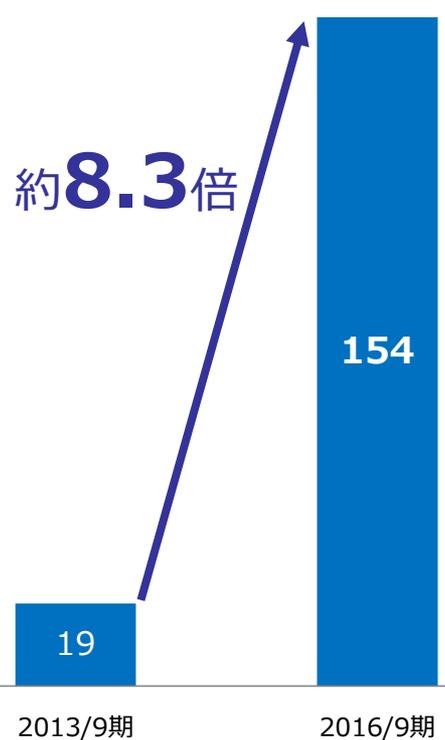
（スマートフォン広告の取扱高）

（単位：億円）



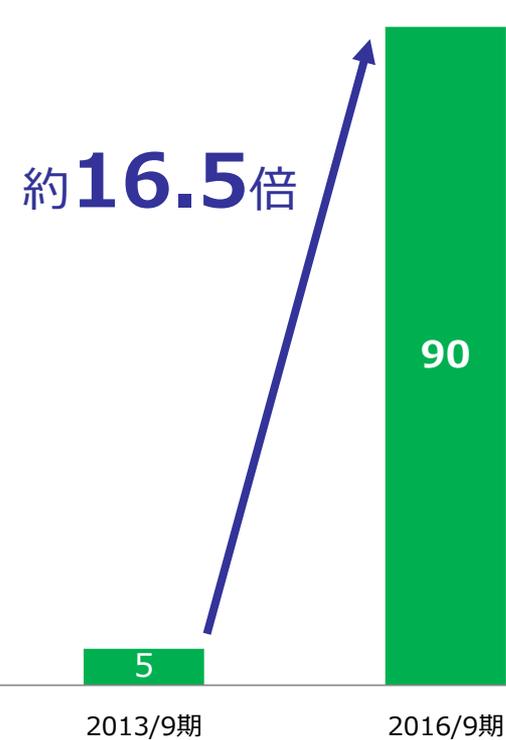
ソーシャル

（Facebook、Twitter、LINE、Instagramの取扱高合計）



グローバル

（海外顧客向け取扱高と国内顧客の海外向け配信取扱高の合計）



※ 各分野の取扱高には、それぞれ重複分が含まれる

5. 中期及び2017年9月期の方針 と1Q業績予想

業績目標

Non-GAAP営業利益：100億円

基本方針

広告事業をグローバルに伸ばす

強いメディアをつくる

スマホの次に投資する

各事業のスタンス

ネット
マーケティング
事業

広告事業を**グローバル**に伸ばす

【スマホ広告市場についての環境認識】

国内市場は徐々に成熟化へ向かう一方、
グローバルではエコシステムが充実し高成長が続く

【国内市場】

スマホ・ソーシャル領域で築いたポジショニングの強化により
シェア拡大と収益性向上を目指す

【海外市場】

オーガニックな事業成長とM&Aの両輪で次の成長ドライバーに

メディア
コンテンツ
事業

強い**メディア**をつくる

GANMA!を自社メディアとしてグループ収益の柱に育成
自社メディアの規模拡大により、ネットマーケティング事業との
セグメント間シナジーを強力に生み出す

翌期以降の成長加速に向けてマンガコンテンツ事業への大型投資を実行しつつ、ネットマーケティング事業の持続的成長により連結ベースでの営業増益を目指す

ネット
マーケティング
事業

- 市場シェア拡大と収益性向上を目指す
- 「グローバル展開」「動画広告」「自社メディア」に注力

メディア
コンテンツ
事業

- マンガコンテンツ事業の収益化に向けた基盤が整う
GANMA!のユーザーベース拡大のための大型マーケティング投資を第2四半期以降に実施予定
- 年間5~6億円程度の追加投資により、メディア規模を1,000万DL超に
- マネタイズに向けたKPIは
LTV（アプリからの収益）> CPI（トラフィック獲得コスト）

ノンコア事業
→ 連結対象外に

- 当社が保有するアクセルマーク株式の一部を2016年11月中に売却予定
- 売却により議決権比率が30%未満に低下するとともに連結対象から除外し、アクセルマークは持分法適用関連会社に

ノンコア事業の連結除外後、次期以降の比較対象となる2016年9月期の連結P/Lを遡及修正し同事業の損益を「非継続事業」に組み替えて表示

(単位：百万円)	2016/9期 通期連結P/L		遡及修正後（見込）	
	金額	比率	金額	比率
収 益	17,060	100.0%	13,862	100.0%
売上総利益	13,623	79.9%	12,478	90.0%
販売管理費	9,803	57.5%	8,350	60.2%
Non-GAAP 営業利益	3,841	22.5%	4,147	29.9%
営業利益	3,730	21.9%	4,154	30.0%
継続事業からの 当期利益	2,252	13.2%	2,717	19.6%
非継続事業からの 当期利益	—	—	△465	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,519	14.8%	2,519	18.2%
【参考】売上高	76,401	—	73,203	—

ネットマーケティング事業は、前年同期比で増収増益となる見通し

メディアコンテンツ事業は、マンガコンテンツ事業を中心に前年同期比で大幅増収を見込むも先行投資継続により赤字幅は横ばいとなる見通し

アクセルマーク株式の売却により、非継続事業からの当期利益を10億円程度計上することを想定親会社所有者帰属当期利益が大幅に拡大する見込み

(単位：百万円)	2016年9月期 1Q実績	2017年9月期 1Q予想	予想成長率
収 益	3,315	3,700	+ 11.6%
Non-GAAP営業利益	972	980	+ 0.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	633	1,700	+ 168.7%
【参考】売上高	17,260	19,000	+ 10.1%

※上記の2016年9月期1Q実績は、ノンコア事業を非継続事業に組替再表示している

(単位：百万円)

ネット マーケティング
メディア コンテンツ
消去・全社
連 結

収 益		
2016/9期 1Q実績	2017/9期 1Q予想	前年同期比
3,245	3,529	+8.8%
116	207	+77.9%
△47	△36	(+10)
3,315	3,700	+11.6%

Non-GAAP営業利益		
2016/9期 1Q実績	2017/9期 1Q予想	前年同期比
1,258	1,297	+3.1%
△194	△ 195	(-1)
△93	△122	(-30)
972	980	+0.8%

本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

経営企画部 IR課

TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2016年11月8日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2016年9月30日現在

会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4 2 9 3 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,085百万円
発行済株式数	27,728,300株（うち自己株式1,784,831株） ※2016年10月1日付で1:5の株式分割を実施
連結従業員数	930名（正社員）、1,159名（従業員）

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2016年11月8日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告	Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni America, Inc.	北米地域におけるインターネット広告事業
(株)Vasara	インターネット広告	Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域におけるインターネット広告事業
(株)ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業	七域広告(北京)有限公司	中国におけるインターネット広告事業
(株)セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国におけるインターネット広告事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業	Lion Digital Global LTD	東南アジア地域におけるインターネット広告事業

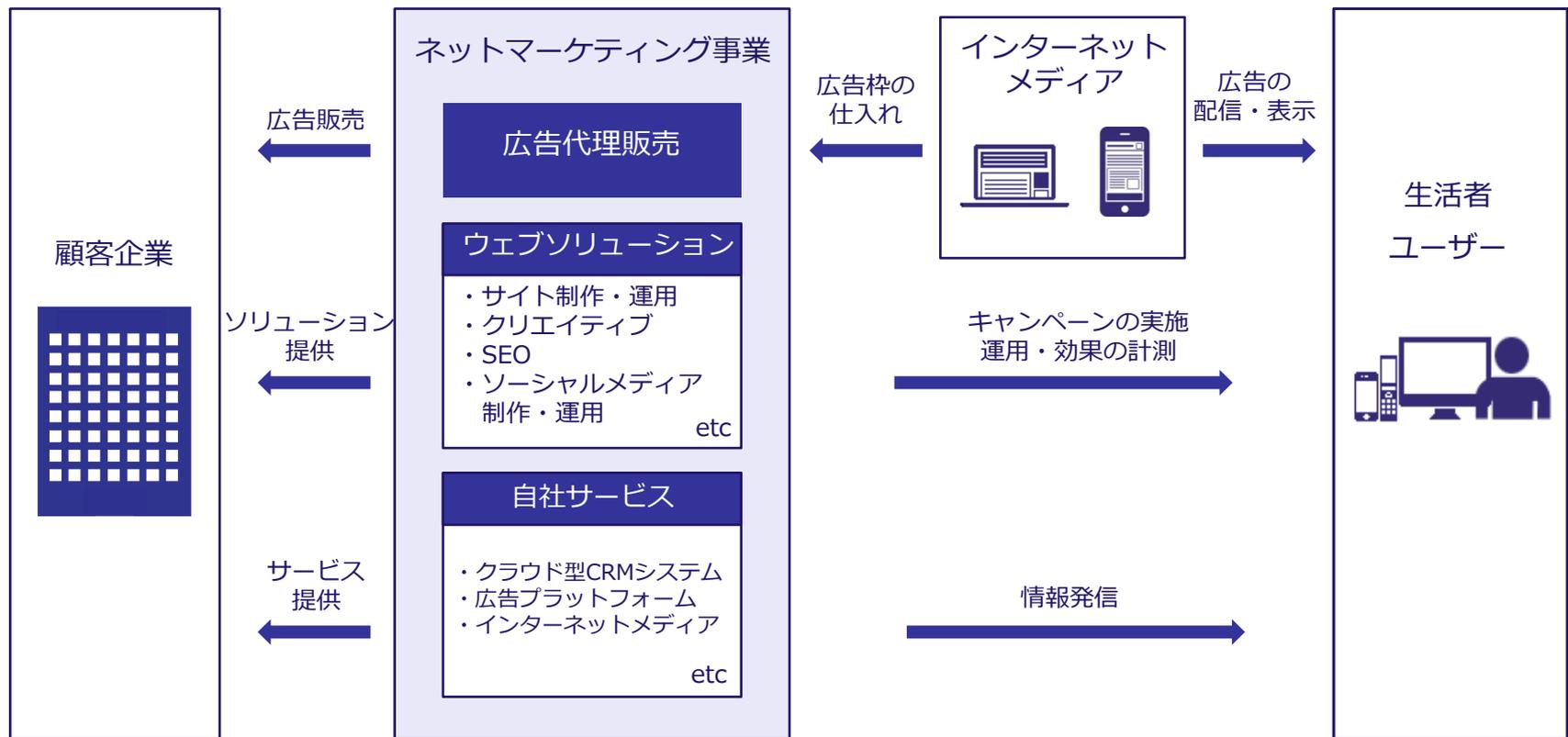
メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	採用プラットフォーム事業	(株)Pharmarket	医療プラットフォーム事業
(株)TowaStela	育児プラットフォーム事業		

新規事業開発

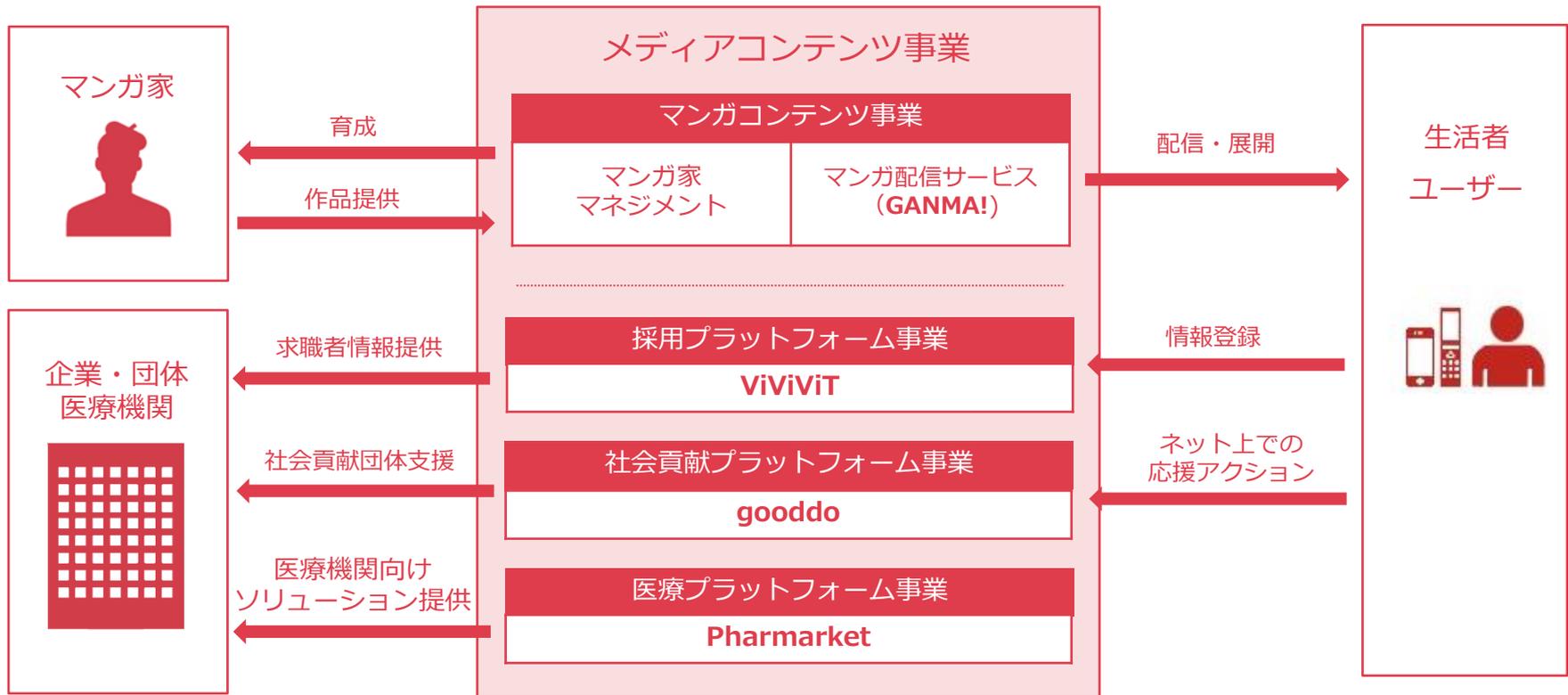
(株)セプテーニ・ベンチャーズ

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 インターネット広告の販売や各種ウェブソリューションの提供をはじめ、
自社サービスとしてアドネットワーク等のマーケティングプラットフォームや
 クラウド型CRMサービスの運営も手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP（知的財産）の企画・開発**を目的に、マンガ家の育成・輩出、マンガ配信サービスの運営を手がける。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業を展開。



	2016年9月期 期末	2015年9月期 期末	増減	主な変動
(単位：百万円)				
流動資産合計	26,268	22,275	+ 3,993	現金及び現金同等物 + 3,786 営業債権 + 165
非流動資産合計	3,712	3,360	+ 352	投資有価証券 + 153 長期繰延税金資産 + 121
資産合計	29,981	25,635	+4,346	
流動負債合計	14,191	13,097	+ 1,095	営業債務 + 450 未払法人税等 + 554
非流動負債合計	744	247	+ 497	長期借入金 + 509
負債合計	14,935	13,343	+ 1,592	
資本合計	15,046	12,292	+ 2,754	利益剰余金 + 2,320 資本剰余金 + 456
負債・資本合計	29,981	25,635	+ 4,346	

(単位：百万円)	2016年9月期 通期	主な内訳	2015年9月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,209	継続事業からの税引前四半期利益 + 3,847 営業債務の増加 + 450 法人所得税の支払い△1,597	1,874
投資活動による キャッシュ・フロー	△109	有価証券の売却 + 277 有価証券の取得△197 無形資産の取得△262	1,258
財務活動による キャッシュ・フロー	801	借入金の増減 + 270 支配喪失を伴わない子会社に対する 所有者持分の変動 + 884 配当金の支払い△363	△124
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△114		△1
現金及び現金同等物の 増減額	3,786		3,007
現金及び現金同等物の 期末残高	15,481		11,695

(単位：人)

